

愛は憎しみを超えて越えて（台湾の自由を守り抜く）

担当:石田昭 2019年6月23日

- 1 まえがき: 第三次世界大戦の勃発をアジア・太平洋地域でくい止めるための必読の一書。
- 2 ベルリンでウイグルの収容所の話をしたら、中国は存在を認め、世界と日本の新聞に載った。いうべきことは思いついたら言わねばならない。日本は「思考停止」の時代が続いている。HRPの発信するオピニオンを2-3年遅れで政策化している。地震科学も思考停止
- 3 「法治主義なら OK」ではない、神仏から見た正しさとは何かが大切。孫文・蒋介石・李登輝・蔡英文の流れが正統。天上界に還っている高級が多い。毛・鄧・習の流れは逆。
- 4 民主主義国家は投票によって独裁的な指導者を変えられる、これは「永久革命」である。
- 5 全体主義国家（国家のために人民がある）の特徴： 秘密警察 強制収用所 肅清・虐殺
- 6 今の中国の問題点は習近平が「国際音痴」であることに尽きる。毛沢東の失敗後、鄧小平の要請で日本の企業が協力したが、先軍思想が残った。これが今、世界への波乱の要因。
- 7 政府高官は、国民を幸福にするサーバント、入れ替えできるのが民主主義。台湾は中国と違い、民主主義が根付いた独立国家である。独立を目指す必要はない。すでに独立国家。
- 8 田中角栄の日中国交回復で、台湾を一方的に国交断絶。情けなく、恥ずかしい。台湾人は「一度養子にしたのに、なぜ捨て子をした?!」と怒っている。NHKは台湾が反日だと偏向報道した。
- 9 今度は台湾を見捨てない。アメリカと共同防衛する体制に切り替えつつある。核武装も二年あればできる技術はある。アジアの平和を維持したいので核武装しないだけである。
- 10 Mc 憲法を作った米国も「信仰」が裏にあって「民主主義があった」ことを日本の政治家・マスコミは忘れている。いま、原点に戻りたい。台湾人が苦しむ未来は断固拒否する。
- 11 ウイグルの指導者、「安倍首相は全く動いてくれない、大川隆法先生に頼むしかない」
- 12 日本敗戦で独立できたのは中華民国（台湾）であって、中華人民共和国（中共）ではない。台湾が中共に国土を奪われたのが真相。中共が返せというというのは「欲」が過ぎる。
- 13 香港の一国二制度は破綻。中国はウソをついている。（逃亡犯引渡し条例反対デモ）中国の軍力は恐れる必要なし。アメリカが本気になれば、北京政府は何もできない状況が真相。
- 14 中国は本土内部から第七艦隊空母攻撃のためのミサイル基地を作っているが、日本はそれを攻撃するミサイルを作っている。米空母を攻撃させない抑止力を日本が作っている。
- 15 共産主義は良いところもある（ソクラテス:目標は良し、理論ダメ）が、嫉妬を合理化する思想が強く、「貧しさの平等」になってしまう。中国の未来は「日本化」することしかない。
- 16 日本が中国に金融戦争を仕掛ける可能性がある。金融の力で競争が始まる。（黒田東彦）
- 17 今、世界は「この方向」に動いている。二十二世紀は私が述べていることが常識になる。
- 18 毛の霊言講義: この本が世界の命運を、少なくともアジアの命運を分ける可能性がある。
- 19 毛はマルクス主義を国是として革命を行なったが、マルクスはいま「無意識界」にいる。百年以上経っても真贋が分からない。「貧富の差」を無くそうしたのは宗教的ではあるが、「暴力革命の肯定」は間違い。「成功者や知識人を殺せば平等になる」という思想は地獄的。
- 20 共産革命は「江戸時代型社会」を作る。武士という文鎮型組織であとはフラット、平等に貧乏。結果の平等を求めた旧ソ連や中国社会は地獄的。中国には情報公開が必要である。
- 21 ドイツ講演でウイグルの件のべた。しばらくしてイスラム教のトルコが言及。イスラム圏は石油輸出の利益があるので、同胞を見殺し、経済利益を優先してきたが、許しがたい。
- 22 中国は「自由・民主・信仰」のある国家に変えたい。2021年中共立党100周年、何かを考えている、悲劇的なことなら、事前に止めたい。3万年の日本の誇りを取り戻したい。